



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hovukai.org/>

第113号

発行:2015年9月15日

発行責任者:
特定医療法人社団 鵬友会
事務局長 池島 守

横浜ほうゆう病院での十五年を振り返って

～他職種連携でチーム医療を～

横浜ほうゆう病院 名誉院長 藤澤 浩四郎



病院開設は2001年4月2日でした。私は初代院長として招聘されました。東京都神経科学総合研究所を1996年7月退職しましたが、研究生活から臨床に戻りたく思って同級生を頼って聖マリアンナ医科大学の内科に預かって貰いました。その関係で湘南泉病院に出入りさせて頂き、池島守常務理事に声をかけられました。新設の病院が出発するためには、先ず第一に職員、特に医師を迎えなくてはならず、幸い当時横浜市大病院精神科教授だった旧知の小阪憲司先生を池島常務理事と訪ね、副院長として彼の教室の角田貞治先生を迎えることができました。職員の充足と謂うことと言えば、池島常務理事の肝煎りで同じ法人の新中川病院から多くの優秀な看護師を束にして送り込んで貰い、入院患者の一部も転入院させて下さり、現院長の福田千文先生自身も開院当初は診療を応援して下さいました。看護師の募集採用ということで申せば、池島常務理事は永澤直美さんを看護部長として連れて来られ、これが出発進行の決定打となりました。院長として私が最初の一年を持ちこたえられるのかと心配して下さいました。私が転落せずに開院初年度を乗り切れたのはこれら多くの方々の応援のお陰でした。

横浜ほうゆう病院は認知症専門の精神科病院として出発しましたから、院長として神奈川県精神科病院協会の定期的会合には末席を汚して毎回出席しました。横浜市には既に精神科病院は十分なだけ存在しているのであって、もう一つ新しい精神科病院は特に必要はあるまいと考えておられた院長方の間に交じっての新参者の出席はいささか肩身の狭い思いの会合でありました。

開院二年目以降の病院の運営は、色々のことが幸いして順調に離陸できたかと思えます。医局も上記

した小阪先生の配慮もあり、市大精神科医局出身の方々が切れ目無く補充されて来ています。看護部はこれまた上記永澤看護部長（今は法人顧問）の幅広い人脈のお陰で各病棟師長以下概ね不足を案ずることなく経過して来ています。現在はこの病院でも概ね同様でしょうが、病棟には看護師以外に、作業療法士・精神保健福祉士などが配属されてきています。看護部は組織上、部長以下、各病棟師長など指示命令の系統が確立していますが、看護師・看護助手以外の作業療法士他の所謂Comedicalの人たちには看護部長、病棟師長だけの指示命令系統では病棟での働きに不十分・不都合な部分がありますから、これは開院当初から立場上院長が、永澤看護部長と共に側面から指導・助言に関与して来ました。

Comedicalの人たちはこれから益々成長・発展すべき職種の人たちですが、職場で日常的にその働きについて指導・助言・支持を配慮してあげることが彼ら・彼女らの職業的成長・成熟のために必要であるだけでなく、患者のためであり、又医療に最終的に責任を負う病棟勤務医の立場からも必要・有益であると考えています。Comedicalの人たちの研修会議に呼ばれた時には、今でも出席して、私にできる指導・助言をし、又彼らの日常的職務から得た経験、研究を纏めて努めて関連の学会に出席・発表の機会を持つようにと励ましています。それがかれらの職業的成長のためであるだけでなく、病院の院外での評価にも貢献し、院外の多くの同業の仲間との交流から世間も広がり、最終的には同業職種の人々からの理解と評価にも繋がるのだと励ましています。

認知症専門の精神科病院の存在は、益々高く評価される存在であるべきと願っています。

1日看護体験を行いました！

【横浜ほうゆう病院】：平成27年7月22日～8月26日の6日間

今年度は7月22日（水）～8月26日（水）にかけて6日間開催いたしました。

1日看護体験は、看護師を目指している高校生や社会人を対象に、看護の仕事を実際に体験していただき、その魅力や遣り甲斐を伝えようとするものです。

オレンジリングを持って
集合写真（8/26）



食事前の手洗い



横浜ほうゆう病院では、認知症の専門病院として「横浜ほうゆう病院の1日看護体験に参加して“認知症サポーター”になろう」をスローガンに掲げ取り組みました。

延べ48人の高校生・一般の方々にご参加いただき、認知症サポーター養成講座も受講していただきました。

オレンジリング



新たに47人の認知症サポーターが誕生し、認知症専門病院としての役割も果たすことができたと喜んでおります。参加者には修了書とオレンジリングを差し上げ、認知症の方やご家族を暖かく見守る応援者になっていただきました。

患者さんとのふれあい

今後は学校で、職場で、地域で今日の学びを存分に発揮してくださることを期待しています。また、今回の体験で看護への道を迷っていた方も全員、将来「看護師」になることの決心がついたとのことでした。

病院のスタッフも患者さんも若いエネルギーをいただき清々しいひとときを過ごしました。ご参加の皆様どうもありがとうございました。



プログラム



【午前】

オリエンテーション
各病棟での看護・介護体験
（看護師・作業療法士と共に行動）

【午後】

デイケアセンター見学
認知症サポーター養成講座
アンケート記入

【内容】

- ・病院の特徴、認知症の理解
- ・清潔の援助、食事の準備・介助
- ・デイケアのプログラムに参加
- ・講義、ロールプレイ、意見交換
- ・修了証書、オレンジリング授与